

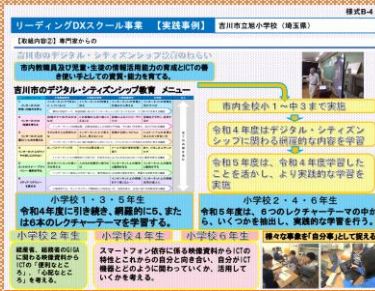
# リーディングDXスクール事【実践事例修正】

吉川市立旭小学校(埼玉県)

## 【取組内容②】 ICTに係る専門家によるオンライン授業の実施

### ねらい

市のデジタル・シティズンシップ教育に係る6つの項目を特任教育支援員が全小・中学校、全学年対象で授業を実施することで、市内児童・生徒全員にICTに係る知識や理解を深める。また、教職員研修も全校悉皆で実施し、教職員からの継続的な指導をねらいとしている。



多様性を理解した関係づくりができる

情報を適切に活用・編集・発信できる

本取組を通して吉川市が子供たちにつけたい力



学校外の人・モノ・コトと積極的に繋がることできる

### 成果

全校共通して同様の指導を実施しているため、教職員と児童・生徒の間に共通認識ができていていると感じている。また、ICTの活用について教職員が指導する際に、ただ、禁止するのではなく、「ICTを効果的に活用する」視点が身に付いてきている。

### 課題

専門家からの授業がその授業時間のみの単発授業のような形になってしまうと、児童・生徒への継続した指導が実施できなくなってしまう。今後は、学校職員がデジタル・シティズンシップについて、さらに研修を重ね、日常的に繰り返し指導ができるようにしていかなければならない。そのためには研修や授業終了後に校内職員で共通した指導を実施できるよう体制づくりを行う必要がある。